

学習等支援施設（サポート校）自己評価

東林館高等学校 サポート校メイプル

2026.1

評価基準【A：達成できている B：概ね達成できている C：努力が必要 D：不十分である E：できていない】

分類	評価項目	評価に関する内容	評価	評価の観点
学習支援	面接指導（スクーリング）時の支援体制	面接指導（スクーリング）における生徒の登校時には、実施会場に職員が同行し、生徒の支援および緊急時に対する行動がとれる体制がとれているか。	A	実施会場に職員が同行し、精神面や体調面の支援を行い、緊急時には保護者連携などを行っている。
	試験実施時の支援体制	定期考査（前期・後期テスト）における生徒の登校時には、実施会場に職員が同行し、生徒の支援および緊急時に対する行動がとれる体制ができているか。	A	実施会場に職員が同行し、精神面や体調面の支援を行い、緊急時には保護者連携などを行っている。
	レポート学習支援	レポートの取り組みや提出に関して、安心して学習に取り組める支援がなされているか。	A	レポート学習の取り組み状況を把握し、安心して取り組めるよう支援している。
	面接指導（スクーリング）への出席状況	各生徒の面接指導の受講状況を把握し、適切に支援が行われているか。	A	スクーリングの受講状況を把握し、個人に応じた支援を行っている。
生徒支援	個別支援	ひとり一人異なった背景を持つ生徒に対して、個々に応じた関わりの方針が検討され、継続的な取り組みがなされているか。	A	継続的な個別面談を実施し、職員間で共有しながら、個々に応じたかかわりの方針を検討して、取り組んでいる。
	心の支援	高等学校での単位修得に関するサポートにとどまらず、生徒の心の状態や健康面に対する視点を持ち、心身の成長や課題の克服を目標とした継続的な支援や対応がなされているか。	A	職員は臨床心理士・公認心理士であり、生徒の心の状態や健康面に対して、成長や課題の克服を目指して、継続的に支援している。
	行事・体験活動	行事や集団への体験の場を経験し、他者や集団に対する意識や人間関係の持ち方を体験し、社会参加に向けた取り組みに参加できる機会を持てる環境があるか。	A	個別支援と小集団での活動を組み合わせ、生徒のペースに応じた社会参加への取り組みの機会を提供している。
進路	進路支援	生徒の進路選択に対する支援が、保護者も含めてなされているか。	A	定期的に保護者面談を行い、進路選択について情報提供して個人に合った進路を支援している。
保護者	保護者支援	保護者面談等を通じて、生徒の支援あるいは家庭での子供との関わりについて保護者支援がなされているか。	A	定期的に保護者面談を行い、子どもの理解と家庭でのかかわりについて、助言し、支援している。
環境施設	防災	学習等支援施設において、火災や地震等、防災に対する支援体制はできているか。	A	消火器の設置、避難経路の掲示などを実施している。
	施設安全対策	学習等支援施設において、安全点検等を定期的に行い、安全な環境づくりが推進されているか。	A	定期的に設備の安全点検を実施している。
	衛生・健康管理	感染症対策等、施設の衛生面での管理がなされているか。	A	手指消毒の呼びかけ、定期的な換気を実施して、施設の衛生面を保持している。
管理	文書管理	生徒情報は適切に管理されているか。	A	個別ファイルを作成し、鍵のかかる場所に保管している。
情報	情報提供	生徒の入学に際して、学習等支援施設と高等学校の関連性と学費に対する説明がなされているか。	A	入学時の説明で、サポート校と本校の関係や学費について丁寧に説明している。
連携協力	関係機関との連携	必要に応じて、教育・医療・行政・心理・福祉・施設等との連携がとられているか。	A	必要に応じて、生徒保護者に確認の上、関係機関と連携し、個人情報の保護と連携を実施している。
	実施校との関係	当該施設と実施校の設置者との間で、連携協力内容についての文書による取り決めがおこなわれているか。	A	文書により取り決めを交わしている。
	実施校との関係	当該施設と実施校との連携について、実施校の学則内に当該施設との連携内容が明記されているか。	A	記載されている。
	実施校との連携体制	生徒支援のため、実施校の職員と定期的に連携を取り生徒に必要な支援にあたれているか。	A	入学時の情報共有と、スクーリング時に連携するほか、必要に応じて連絡を取り合い、支援している。